

JSPEN参加報告

—第24回日本静脈経腸栄養学会in鹿児島—

去る1月29日・30日に、鹿児島県にて第24回日本静脈経腸栄養学会が開催されました。7,000人と言われる参加者の中、当院NST委員会からも10名が参加し、栄養管理の最新情報を学んできました。



当院からは2演題発表しました。

- 『当院NSTによる半固形化栄養剤の適正使用への取り組み』
- 『人工呼吸器離脱後経口摂取可能となった一症例を通して当院NSTにおける摂食・嚥下グループの活動を考える』



【西郷隆盛像】



【ポスター発表会場】

ポスター発表だけで768演題もありました。どこの病院もNSTが頑張っている!!という熱意を感じましたヨ。



会場が広く歩きつかれて…。
マッサージ効果はグー!



【学会会場玄関前にて】



【桜島】学会の盛況で鹿児島が揺れたためか?! 2日後に桜島は噴火しました。

こんなことを学んできました!

ランチョンセミナー 『実は未解決の大問題, “投与カロリー量”の算定法

～ストレス係数が有害係数になる時～』

寺島秀夫先生(筑波大学 消化器外科 病院教授)

【要旨】

- ・HBTの公式は健常人を対象としたものであり、病気を持った患者にやみくもにストレス係数として乗じて使用するには無理がある。→ストレス係数が有害になる。
- ・患者の侵襲に対するレスポンスの違いによりテーラーメイドでエネルギー投与量は考えていくべき。
- ・古代ローマ軍はなぜ強かったのか?→最適な兵糧部隊があったから。
この**最適な兵糧部隊こそNST**なのである。